Embassy of Japan
in the Kyrgyz Republic

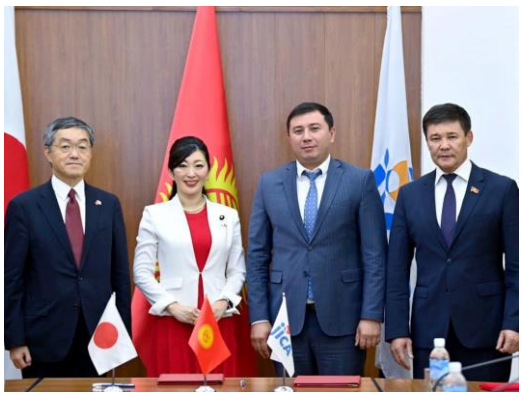
「人材育成奨学計画（JDS）」署名式の開催

８月２日、吉川ゆうみ外務大臣政務官のキルギス訪問の機会に、令和５年度対キルギス無償資金協力「人材育成奨学計画（JDS）」の署名式が開催されました。吉川政務官の立会いのもと、合田秀樹駐キルギス日本国特命全権大使とルスラン・タチコフ財務次官との間で交換公文が、川本寛之 JICA キルギス事務所長と同次官との間で贈与契約がそれぞれ署名・交換されました。署名式には、ターライベク・マサビロフ対日友好議連会長が出席しました。

JDS は、人材育成及び二国間関係の発展を目的として、若手行政官を対象に、日本の大学院での学位取得を支援する奨学金プログラムです。同プログラムにおいて、日本政府は３億２,４００万円（約２２６万ドル）を支援します。

JDS は世界２０カ国以上で実施されてきており、キルギスからは２００７年に最初の留学生を日本に送り出しました。これまで約２７０人の公務員が日本に留学し、卒業生は省庁を中心とする様々な場で、キルギスの持続可能な発展に貢献すべく日々奮闘しています。卒業生の中には、大臣や次官等の政府要職に就いた方も多くおられます。

日本政府は、JDS 生が日本で得た知識と経験を、キルギスで実際の政策に活かし、キルギスの社会・経済発展に貢献するとともに、日本とキルギスの二国間関係発展の懸け橋になることを期待します。



（了）